



入間ロータリークラブ



Weekly Report

- 2013-2014 R I 会長：ロン D. パートン
- R I 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
- 会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
- 例会日：木曜日 12：30～13：30
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケット・ホール
Tel. 04-2963-1111

- 会報委員長：関谷 永久 ■ 当番：山岸 義弘
- 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号
Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第42号 2812回例会 2014年 5月 8日(木)

＜今月のお祝い＞

会員誕生日	諸井克彦君
夫人誕生日	晝間典子様 忽滑谷理恵子様 細淵理恵様
結婚記念日	大野賢次君 細淵克則君 西山祐三君 平岡達也君

＜6月プログラム＞

	当番	内 容
5 日	吉沢	第 6 回クラブ協議会 各小委員長事業報告
12 日	田中	五大奉仕委員長事業報告
19 日	後藤(健)	会長・幹事・SAA挨拶
26 日		最終例会(夜間例会)

＜ビジター・ゲスト＞

飯能ロータリークラブ 沢辺 滯吉 様
米山記念奨学生 アリカム・アキラム様



新疆ウイグル自治区から参りました。言葉も文字も文化も中国とは違います。これからの一年で色々お話ししていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

●●●会長の時間 友野政彦会長

皆様GWはいかがお過ごしでしたでしょうか。GW 中のニュースでは作家の渡辺淳一氏が亡くなった事が報じられています。氏が得意とされた所謂恋愛小説は読んでおりませんが「鈍感力」というエッセーは楽しめました。又、NBA ロスアンゼルス・クリッパーズのオーナーが人種差別発言の為に、250 万ドルの罰金を科せられたうえで NBA より永久追放になったニュースもありました。このような人種差別の背景には、ヨーロッパ人が他地域を植民地化していた過去が大きく影響しており、いまだに人種による優劣という幻想を抱く人もいます。ヨーロッパの文明が先行した理由を、ピューリ

ッツァー賞受賞作家・ジャレド・ダイヤモンド氏は著書「銃・病原体・鉄」で説明しています。

ある民族が高度な文明を築けたかどうかは居住する場所に大きく左右され、狩猟採集生活から食料生産に移行するにあたり、栽培可能な植物がどれだけ付近に自生していたか、水(河川)と肥沃な土地があったかどうか。これはユーラシア大陸、特にメソポタミアが恵まれていました。米と大豆などは中国でしたが、小麦・大麦・エンドウなどの原種がありました。一方、最も恵まれなかったのがオーストラリアでアボリジニは狩猟採集生活を続けざるを得ませんでした。また家畜化された大型哺乳類は 14 種いますがうち 13 種はユーラシア産です。メジャーな 5 種(山羊・羊・牛・馬・豚)とマイナーな 9 種(ラクダ・水牛など)があり、ユーラシア産以外の 1 種は南米産のアルパカで、アフリカ原産(サハラより南)で家畜化された種はありませんでした。そして東西方向に延びるユーラシアは作物や家畜、技術や発明品などが伝播しやすく、南北に延びるアメリカ等は気候が大きく異なり砂漠や熱帯雨林等の分断があった為、伝播が困難でした。その後ユーラシアにおいてはメソポタミアの森林伐採による砂漠化とともに繁栄の中心は西へ移り、東には一方の雄である中国が 15 世紀初頭にはコロンブスに先駆けて数百隻の大船団をアフリカに送り出す迄になりました。しかし宮廷内の権力闘争の結果外洋航海は 1433 年を最後に禁じられ、15 世紀末以降はあらゆる技術革新から自ら手を引き、ヨーロッパの先行を許してしまいました。ダイヤモンド氏は、その原因を中国は統一された大きな国家であったのに対してヨーロッパは数百の小国家が切磋琢磨する状態であった事ではないかと言っています。

●幹事報告 西山祐三幹事

- 第 1 回定例理事会 <協議事項>
1. 6 月のプログラムについて
 2. 4/15 入間南 RC との合同例会会計報告
 3. 青少年交換留学生ジョサン・ポーポ君受入について

<報告事項>

1. 使途指定寄付ポリオ撲滅 送金1人10ドル
2. 5/11(日)ライラデイ
3. 5/24(土)ロータリーの森奉仕活動
4. 6/11(水)今年度次年度会長幹事会
5. 6/14(土)第1回会員増強セミナー
6. 5月ロータリーレート, 1ドル102円
7. 5月より10月までクールビズ
8. 5/13(火)入間市交通安全推進協議会定期総会
9. 5/17(土)入間市環境まちづくり会議
10. 5/21(水)入間市商工会通常総代会
11. 5/28(水)入間市社会福祉協議会評議委員会
12. 5/28(水)4クラブ合同懇親会

●委員長報告

ロータリー情報委員会

山岸義弘委員長

ロータリーとして力を入れておりますポリオ撲滅ですが、「ロータリーの友」や本日の日経新聞にもポリオが又、増えていると載っています。尚、いっそうポリオ撲滅のご支援をお願いいたします。

雑誌委員会

水村雅啓委員長

ロータリーの友5月号に入間 RC の記事が載りました！12月に馬路会員の長徳寺で行なった「座禅例会」の様子が載るよう投稿していきましょう。

環境保全委員会

後藤賢治委員長

財団の研修に行つて参りました。補助金申請を5月15日迄に申請し、年度内に使い切らなくては行けない等の説明がありました。財団に年1,000\$の寄付をお願いしますと強く言われました。

<出席報告>

木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40名	29名	74.3%	73.0%

事前欠席連絡 4名

<ニコニコBOX>

滝沢文夫 S A A

沢辺瀨壺様～この前は大勢の方がお越しいただきありがとうございます。友野政彦君、加藤国夫君、忽滑谷明君～アリ君ようこそ、木下カウンセラー宜しくお祈いします。木下登君～沢辺様先日はお世話になりました。アリ君今日から出席です、宜しくお祈いします。馬路宏樹君～沢辺様お世話になりました。友野政彦君、齋藤金作君、西山祐三君、石川嘉彦君、細淵克則君、荒井正武君、晝間和弘君、繁田光君、後藤賢治君、後藤健君、滝沢文夫君～加藤さん写真ありがとうございます。出席委員会～飯能RCへ15人でメーキャップに行つてきました、17人分のニコニコ均等割り残り分です。

本日¥43,200 累計¥835,200

■回覧、配布物

- ①ロータリーの友5月号
- ②ガバナー月信5月号
- ③RI2570 地区派遣学生3月次報告書
- ④入間市民チャリティーゴルフ大会ご案内
- ⑤他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑥5/22日帰り美術館出欠表
- ⑦週報41号

■ ■ ■ 会員卓話(趣味の話) ■ ■ ■

<幕末歴史散歩>

新井格会員



本日は幕末動乱期、後に明治維新の中心となって活躍する多数の門下生を輩出した「松下村塾」を主宰した思想家で教育者、そして兵学者である吉田松陰のお話をいたします。

天保元年(1830年)8月4日に長州萩城下松本村(現在の山口県萩市)において、長州藩の下級武士・杉百合之助の次男として生まれました。名は矩方、通称寅次郎、号は松陰、二十一回猛士。松陰は、叔父で山鹿流兵学師範である吉田大助の養子となりますが、直後に大助が死亡した為、僅か6才で吉田家と山鹿流兵学師範の立場を継ぐ事となります。叔父の玉木文之進が開いた松下村塾で指導を受け、11歳の時、藩主・毛利慶親の前で『武教全書』戦法篇を講義(親試)します。その講義は藩主をはじめ居並ぶ重臣たちも目を見張るものであったそうです。その後19歳で、玉木文之進らの後見人を離れ、藩校・明倫館の独立師範(兵学教授)に就任します。アヘン戦争で清が西洋列強に大敗したことを知り家学の山鹿流兵学が時代遅れになったことを痛感すると、西洋兵学を学ぶため九州に遊学。ついで、藩主の参勤交代に従い江戸に出て佐久間象山に師事します。嘉永5年(1852年)、盟友である宮部鼎蔵らと東北旅行を計画しますが、出発日の約束を守るため、長州藩からの過書手形(通行手形)の発行を待たずに脱藩、土籍剥奪、家禄没収の処分を受けます。嘉永7年(1854年)1月、伊豆下田港にて長州藩足軽・金子重之助と共にペリー艦隊に小舟で乗り込み、密航を訴えますが、拒否されてしまいます(下田踏海事件)。事が敗れた後、直ちに幕府に自首、長州藩へ檻送され野山獄に幽囚されます。郷里で生家預かりの身となりますが、叔父の玉木文之進が開いていた私塾・松下村塾を引き受けて主宰者となり、高杉晋作を初め久坂玄瑞、伊藤博文、山県有朋、吉田稔麿、前原一誠など、維新の指導者となる人材を教え育てます。安政5年(1858年)、幕府が勅許なく日米修好通商条約を結ぶと松陰は激しくこれを非難、老中・間部詮勝の暗殺を企てますが、長州藩は警戒して再び松陰を野山獄に投獄します。翌、安政6年、幕府の安政の大獄により江戸に送致され取り調べを受けます。松陰は老中暗殺計画を自供して自らの思想を語りますが、役人の態度から死を覚悟、家族への「永訣の書」と門下生達に向けた「留魂録」を記します。安政6年10月27日、評定所から「死罪」が言い渡され即日処刑、享年30(29歳没)の短くも熱い生涯でした。



最後に数ある松陰の名言の中でも僕のお好きな言葉で卓話を終えたいと思います。

死して不朽の見込みあらばいつでも死ぬべし
生きて大業の見込みあらばいつでも生くべし

会報委員会(関谷・平岡・忽滑谷)